

中海圏域調査特別委員会
資 料
(平成22年6月22日)

1	第1回中海会議の概要について	1
2	第1回中海会議を受けた部会等の設置について	4
3	西部総合事務所への中海対策担当参事の設置について	5
4	中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録5周年記念事業等について	6
5	斐伊川水系河川整備計画の策定について	7
6	米子鬼太郎空港の利活用状況について	9

企 画 部
生 活 環 境 部
県 土 整 備 部

第1回中海会議の概要について

平成22年6月22日
企 画 課

平成22年4月22日に開催された中海の水に関する諸問題を協議検討する新たな協議会「中海会議」の第1回会議の概要は、次のとおりです。

1 中海会議の設置について

- 中海会議を設置。
- 「堤防、護岸等の整備」及び「水質及び流動など」については、部会を設置することとした。
- 「農地の排水不良」及び「利活用」については、ワーキンググループで内容を検討することとした。

2 堤防、護岸等の整備について

- 内水対策の議論も含めて、「部会」を設置し、議論を進めることとした。

3 水質及び流動などについて

- 「国、県、市町それぞれが水質改善等に向けた取組を行っているので、それらを一つにし、総合的な対策・取組を行ってほしい」との意見を受け、「部会」を設置し、国、県、市町の役割分担の整理を含め、議論することとした。

4 農地の排水不良について

- 農地の排水不良や国営土地改良事業完了後の施設の管理などに関し、ワーキンググループを作って検討を進めていくこととした。

5 中海の利活用について

- 国、県、市町村でワーキンググループを作ってアイデアを出し、検討を進めることとした。

6 次回の中海会議

- 次回の中海会議の開催時期は、幹事会における検討状況や、予算時期、大きな変化の発生などの状況もみながら、臨機応変に判断することとした。(少なくとも年1回は開催)

中海圏域の未来に向けた新たな協議会「中海会議」の設置

大橋川改修事業の実施に関し、
「鳥取・島根両県協定書」を締結 (H21.12.19)

「中海及び沿岸域の水に関する諸問題」について検討する協議会の設置を国に求めることを両県が合意

[国土交通省は、鳥取県に対し協議会の設置を回答 (H21.11.9、H21.12.17)]

取組項目

- 中海沿岸住民の安全、安心の確保。
 - ⇒ 河川整備計画(策定中)に基づく中海及び境水道の堤防、護岸等の円滑な整備
- 中海の水質改善のための取組。
 - ⇒ 水質及び流動などのモニタリングの継続実施及び必要な改善策の協議検討
- 中海沿岸農地の問題への対応。
 - ⇒ 中海沿岸農地の排水不良の問題を検討
- 中海を両県の貴重な財産として未来に向かって活用、継承。
 - ⇒ ラムサール湿地登録された中海の賢明な利用(ワイズユース)

中海会議

「中海及び沿岸域の水に関する諸問題」について協議検討

構成メンバー

国(国交省、農水省)、
両県、沿岸市町

《オブザーバー》 環境省、防衛省

◆「中海会議」設置後

「中海に関する協議会」は発展的に解消。

※「中海に関する協議会」(H13.8.28～)

(構成) 農水省、国交省、両県

(目的) 中海に関する諸問題の調整を図る。

《協議項目》

・中浦水門の取扱いとこれに伴う雇用問題

・中海の水質を始めとする環境改善

・淡水化中止に伴う代替水資源確保対策の実施、その他

所掌事務

(1) 中海及び境界水道の 堤防、護岸等の整 備に関すること

既存組織 との関係

◆「中海護岸等整備促進協議会」は、中海湖岸提等整備の円滑化等を図る「調整会議」に改組し、当該協議の部会として位置付ける。

※「中海護岸等整備促進協議会」

(H17.7.25～)

(構成) 国交省、防衛省、両県、

沿岸市町、港湾管理組合

(目的) 中海の護岸等の整備の促進を図る。

(2) 中海の水質及び 流動などに関する こと

《会議運営》

○議長：両県知事が共同議長を務める。

○事務局：両県及び国交省に置き、開催県が主務を掌る。

○幹事会：担当部長・副市(町)長等で構成し、会議の事前調整等。

○検討部会：必要に応じて設置。

(3) 中海沿岸農地の 排水不良に関する こと

既存組織なし

※現在、弓浜半島中海側(崎津、彦名地区)の排水不良農地の対策について、米子市及び両県が個別に相談に応じている状況。

(4) 中海の利活用に 関すること

◆具体的協議項目の設定は、新たな協議会での議論に委ねる。

(例) 水産振興、観光振興、環境教育、

住民参加

(参考)

《中海圏域振興》

※「中海市長会」

(取組) 中海圏域振興ビジョン策定

圏域PR、連携活動等

《水産関係》

※「中海及び境界水道における漁業に

関する鳥取・島根両県協議会」

(構成) 両県、漁業関係者

(目的) 許可漁業振興及び自由漁業

の取扱、漁業振興、漁業管理

《観光関係》

※「山陰文化観光圏協議会」

(構成) 両県の観光団体・行政機関

(目的) 観光圏の形成及び誘客促進

《NPO法人》

※中海再生プロジェクト、未来守り(さきも

り) ネットワーク、自然再生センター等

第1回中海会議を受けた部会等の設置について

平成22年6月22日
企 画 課

第1回中海会議を受けて、中海会議で所掌する事項を協議検討するため、次のとおり部会及びワーキンググループを設置することで調整を行っています。

	区 分	所掌事務及び構成メンバー（調整中）
部 会	①中海湖岸堤等整備に係る調整会議	○所掌事務：堤防、護岸等の整備（内水対策の検討を含む。）等について検討を行う。 ○構成メンバー（オブザーバーを含む。） 国土交通省（中国地方整備局出雲河川事務所） 防衛省（航空自衛隊美保基地） 海上保安庁（境海上保安部） 境港管理組合 鳥取県、島根県 米子市、境港市、松江市、安来市、東出雲町
	②中海の水質及び流動会議	○所掌事務：水質及び流動モニタリングの実施及び分析、水質改善策等について検討を行う。 ○構成メンバー（オブザーバーを含む。） 国土交通省（中国地方整備局出雲河川事務所） 農林水産省（中国四国農政局） 環境省（中国四国地方環境事務所） 鳥取県、島根県 米子市、境港市、松江市、安来市、東出雲町
ワーキンググループ	③中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ	○所掌事務：中海沿岸（彦名・崎津）の農地排水不良対策等について検討を行う。 ○構成メンバー 国土交通省（中国地方整備局出雲河川事務所） 農林水産省（中国四国農政局） 鳥取県 米子市
	④中海の利活用に関するワーキンググループ	○所掌事務：中海の賢明な利活用（ワイズユース）について検討を行う。 ○構成メンバー 国土交通省（中国地方整備局出雲河川事務所） 環境省（中国四国地方環境事務所） 鳥取県、島根県 米子市、境港市、松江市、安来市、東出雲町

西部総合事務所への中海対策担当参事の設置について

平成22年6月22日

企 画 課

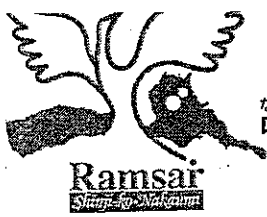
中海対策に関し、主として、現場における関係機関との連絡調整、地元調整の窓口として、平成22年4月1日、西部総合事務所県民局に「中海対策担当参事」を設置し、体制を整備しました。

「中海対策担当参事」は、西部総合事務所長を補佐しながら、総合事務所各局の情報を掌握し、本庁（国や島根県との連絡調整や、各分野での政策、課題解決を所管部署として推進）との連携を図ります。

「中海対策担当参事」の担当業務の内容は、次のとおりです。

【「中海対策担当参事」の担当業務】

- 1 中海対策に係る総合調整 [所管部局：企画部]
 - 中海対策の現場における総合調整及び関係機関との連絡調整
 - 中海会議の具体案件に関わる地元住民、関係機関等との協議・調整
- 2 中海護岸整備の進捗管理等 [所管部局：県土整備部]
 - 中海護岸整備の進捗管理
 - ・米子市、境港市等との情報交換
 - ・現地確認等を通じての全体の進捗状況の把握
 - 個々の中海護岸整備事業に係る関係機関、米子市、境港市等との調整
- 3 排水不良農地問題に係る米子市ほか関係機関との調整 [所管部局：農林水産部]
- 4 中海の利活用と環境保全 [所管部局：生活環境部]
 - 鳥取県流域における現場での総合調整
 - 水質改善措置策や利活用に係る情報収集等



中海・宍道湖ラムサール条約湿地登録5周年記念事業等について

(島根県・鳥取県連携事業)

中海・宍道湖が、それぞれラムサール条約湿地に登録 (H17.11.8) されてから、本年11月で5年を迎える。これを記念して、島根県、鳥取県、中海周辺自治体(4市1町)、NPO及び地域住民等が連携し、世界的に貴重な財産である中海・宍道湖の豊かな自然とその恵みを、次世代へ引き継いでいけるよう環境保全活動、賢明利用(ワイズユース)、交流・学習等を実施する。

1 中海・宍道湖一斉清掃

6月13日(日)に実施した一斉清掃の開始式(東出雲町)では、地元のこどもエコクラブの宣誓のほか、ウナギの稚魚放流を実施した。また、清掃に併せ、米子港では、ジュニアヨット・クリーンエコセーリング大会(主催:社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟)が開催され、こどもたちが清掃後、クリーンなエネルギー「風」を利用した競技を通じて、自然環境の大切さを学習した。

(実施結果)

湖	市町村	主な実施場所	参加人数 (人)	ごみの量 (t)
中海	米子市	湊山公園親水護岸 ※西部総合事務所長出席	750	2.00
	境港市	西工業団地北・西側湖岸 ※生活環境部長出席	250	0.83
	安来市	ハーモニータウン汐彩、汐手が丘、伯太川・吉田川周辺、安来港・荒島港・新田港周辺	1,104	0.71
	東出雲町	意東海岸 ※開始式(セレモニー)会場 ※島根県知事ご夫妻、鳥取県副知事出席	255	0.79
宍道湖	松江市	白潟公園、千鳥南公園、玉湯町・宍道町の湖岸、 県道八束松江線	2,800	6.77
	出雲市	島村町・出島町・園町・鹿園寺町・小境町・ 美野町の湖畔	1,500	2.56
	斐川町	宍道湖西岸なぎさ公園、斐川なぎさ公園、 新建川周辺	573	0.90
合 計			7,232	14.56

2 ラムサール条約湿地登録5周年記念事業 (予算額 25,900千円(両県折半))

「豊かな恵みを次世代に引き継ぐために(仮称)」をテーマに、3本柱で事業を展開する予定。

区 分	開催時期(予定)	開催場所(予定)
記念展示 「中海・宍道湖を知る・学ぶ展」	9月29日(水)から 10月9日(土)まで	くにびきメッセ(松江市) (10/2 オープニングセレモニー) (9/29~10/1 小中対象の内覧会)
シンポジウム・ミニ展示	10月30日(土) 13:30~16:00	米子市文化ホール(米子市)
次世代を担う両県及び北東アジア のこどもたちの交流	22年秋頃	中海及び宍道湖の拠点施設

(1) 記念展示 「中海・宍道湖を知る、学ぶ展」(仮称)

5つのコンセプトにより宍道湖・中海の歴史や暮らしをはじめ、過去から現在を学び、次世代に繋がるものを提案する。

- ①両湖が太古の昔から形づくられた経緯、②ちょっと昔の地形や生活を古い写真、
③現在の生物多様性、④みんなで取組む宍道湖・中海の保全活動、⑤中海・宍道湖の恵み

(2) シンポジウム(ミニ展示を含む)【両県知事出席予定】

登録から5年の変化や今後の賢明利用について、専門家や地域での活動団体の取組みを紹介し、将来につながる活動のあり方を探るとともに、さらなる環境保全に向けた意識醸成を図る。

○基調講演、リレートーク(NPO等)、パネルディスカッション

(3) その他

- 記念展示、ミニ展示のほか、鳥取県及び島根県内の事業所で移動展示を実施予定。
○水鳥公園、ゴビウス、各市町が実施する独自事業を、5周年記念事業に位置づけ実施予定。

斐伊川水系河川整備計画の策定について

平成22年6月22日
河 川 課

1 第7回斐伊川河川整備懇談会の概要

平成22年5月31日(月)、「第7回斐伊川河川整備懇談会」(構成委員;学識経験者、沿川市町)が開催され、斐伊川水系河川整備計画(案)が了承された。

(1)日 時 平成22年5月31日(月)午後2時~4時

(2)場 所 島根県市町村振興センター6F大会議室(松江市)

(3)説明概要

○本年3月に国土交通省中国地方整備局がまとめた斐伊川水系河川整備計画(原案)を、懇談会の委員から出された意見や住民から寄せられた意見を基に一部修正。

○計画(原案)に対する住民意見について国の対応方針を説明。

意見総数;163件、住民説明会(松江、出雲、米子)出席者;約130名

[主な住民意見と国の回答]

①上流のダム、放水路の適切な運用により、住民の生命、財産を守ることが可能では。

(大橋川の改修を実施する必要はない。)

→ダム、放水路の整備効果を前提としても、大橋川沿川ではほとんどの区間において堤防が整備されていないこと、上下流2箇所(所)の狭窄部が存在し必要な川幅が確保されていないこと、川底が高く洪水を流す必要な河道断面が確保されていないことから、浸水被害を解消することは出来ない。

②事業に伴う環境監視が重要であり、モニタリングの具体的な内容を提示し、十分な監視体制を図るとともにその結果について随時公表していただきたい。

→モニタリングは、計画策定の段階から関係自治体、専門家等で構成された協議会を組織し、意見、助言を得て作成した計画に基づき実施するとともに、その結果については随時公表する。

③(大橋川改修は)内水対策(ポンプの設置)と合わせて実施すべきでは。

→大橋川河川整備については外水による被害軽減とあわせ、内水による被害軽減を図るため、雨量・水位情報等のデータ提供等の支援を行い、地元自治体と連携して内水被害の軽減に努めるとともに、松江市街地で実施される内水対策事業と施工時期等の調整を図り河川整備を実施する。

*平成22年6月4日付で、国土交通省中国地方整備局から「斐伊川水系河川整備計画」に係る知事意見を求める協議文書が送付され、現在、県が米子・境港両市に対して文書にて意見照会中。

2 今後の予定

- ・米子・境港両市からの回答を踏まえ、県としての意見を国土交通省中国地方整備局に回答。
- ・中国地方整備局が、農林水産省等関係省庁と協議し、斐伊川水系河川整備計画を策定・公表。

斐伊川水系河川整備計画（国管理区間）策定までの流れ

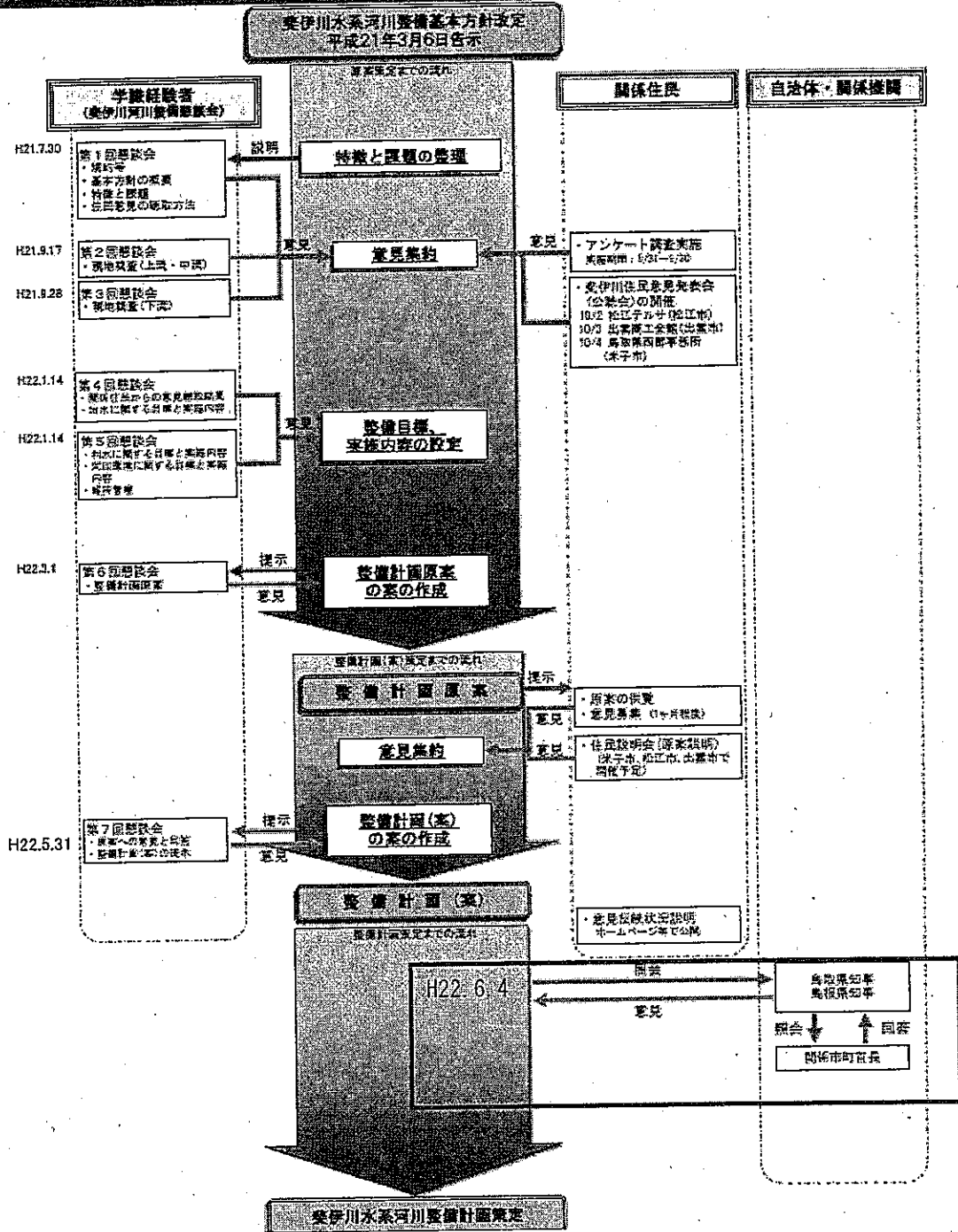


表 5-1 整備順序の概略工程表

整備区所	優先順位	主な整備内容	河川整備計画対象期間		
			短期	中期	長期
ダム・放水路	(1)~(3)	尾原ダム・石津見ダムの建設 斐伊川放水路及び神戸川の河川整備	完成		
斐伊川 本川	(3)	堤防の整備 支川合流点処理			
	(4)	堤防強化対策			
宍道湖	(3)	湖岸堤防の整備			
大橋川	(2)	狭辛部の拡幅（堤防の整備含む）		設計協議・用地買収・橋樑工事等	
		堤防の整備（計画高水位まで） 水門等の整備		下流部拡幅工事	上流部拡幅工事
		堤防の整備（計画堤防高まで）			
中海・環水運	(1)~(2)	湖岸堤防の整備	短期整備箇所 (I)	中期整備箇所 (II①)	中期整備箇所 (II②)

出典：斐伊川河川整備計画(案)

中部国際空港セントレア 飛行機なら山陰がますます身近に!

名古屋

Chubu-centrair international airport

から

約1時間で

よなごきたろうくうこう

1日1往復!

米子鬼太郎空港へ

Yonago Kitaro airport

●時刻表・交通アクセス

□2010年6~7月

米子行			名古屋行		
便名	名古屋	米子	便名	米子	名古屋
1841便	14:45	→ 15:45	1842便	16:15	→ 17:10 (6月)
1841便	14:55	→ 15:55	1842便	16:25	→ 17:20 (7月)

※予告なく変更となる場合がありますので、必ずご確認ください。

中部国際空港(セントレア)ホームページ <http://www.centrair.jp/index.html>

(名古屋駅からセントレアへは電車で28分、自動車ですら30~40分程度です。)

米子空港ホームページ <http://www.yonago-air.com/>

●ご予約・お問い合わせ

国内線予約案内

☎0570-029-222 (有料)

インターネット予約

ANAホームページ・携帯サイト

<http://www.ana.co.jp/>



■大山

中国地方の最高峰



大山夏開き



とつとり花田園



留生温泉



西日本有数のブナ林

■鬼太郎のふるさと・鳥取県境港市

水木しげるロード

道沿いには130体以上の妖怪ブロンズ像と妖怪グッズ&グルメのお店が並んでいます。

日本海でとれた新鮮でおいしい「海の幸」を味わう

GO!



協力/水木プロ



境港・マグロの水揚げ

米子空港利用促進懇話会

世界で初めての妖怪の名前がついた空港

米子鬼太郎空港

よなごきたろうくうこう が誕生しました!

「米子鬼太郎空港」を可愛がってください。

米子空港は、鬼太郎のふるさと境港にあります。
山陰・中海地域は豊かな歴史と浪漫でいっぱい!

はじめてまして山陰路

「鳥取県観光情報」
<http://yokoso.pref.tottori.jp>

✦ ANAで行く鳥取・島根 ✦

「しまね観光ナビ」
<http://www.kankou.pref.shimane.jp>

米子空港を拠点に山陰路をゆったり満喫。
いまだかつてない感動があなたをお待ちしています。



米子鬼太郎空港の利活用状況について

平成22年6月22日
交通政策課

1 名古屋便・東京便の利用促進

(1) 名古屋便

名古屋便については、来年1月5日からの休止が決定されたが、今後、利用実績が大きく改善すれば来年度以降の運航の可能性もあるため、大変厳しい状況ではあるが、米子空港利用促進懇話会等と連携して、中京圏からの観光誘客や地元の利用拡大など、引き続き利用促進の取組を強力に展開していく。

(2) 東京便

東京便については、今年10月の羽田空港滑走路拡張に伴う発着枠増加を機に増便の実現を目指し、今後一層の利用実績を築く必要があるため、米子空港利用促進懇話会と一体となった利用促進の取組を積極的に展開し、利用拡大を図る。

(3) 利用促進の主な取組

①名古屋便利用促進緊急対策

- グループ旅行支援事業「Fu-Fu-Fuキャンペーン」(5～6月)
- 中京地域での名古屋便PRチラシ・観光パンフレット等の配布(4～5月)
- 中京地域での新聞等への名古屋便の路線PR広告掲載(5～6月)
- 読者プレゼント(4～6月)

②東京便・名古屋便の利用促進キャンペーン

- 「ANAで行く！うっとり鳥取キャンペーン第2弾」(6～7月)
- 旅行メディアの発信力を活かした観光PR(5～6月)

③県内空港利用促進強化対策(6月補正提案中)

- 鳥取県魅力PRキャンペーン「うっとり鳥取キャンペーン2010秋」(10～12月)
 - ・ANAとタイアップしたキャンペーンPR
 - ・食のみやこ県産品プレゼントキャンペーン
 - ・E dyプレゼントキャンペーン
 - ・鳥取観光PR
- 米子鬼太郎空港利用促進PRキャンペーン
 - ・グループ旅行支援(Fu-Fu-Fuキャンペーン)(7～9月予定)
 - ・山陰観光地プレゼントラリー(10～12月予定)
 - ・団体旅行客送客支援(10～12月予定)

2 滑走路2500m化後の取組

平成21年12月、滑走路2500m化により、大型機の就航や直接遠距離への運航が可能となったことなどから、北東アジアゲートウェイとして一層発展することを目指し、米子空港利用促進懇話会と一緒に、エアポートセールスをより一層行い、国際チャーター便を活用した観光・経済交流の促進を図る。

<H22計画・検討中の国際チャーター便>

ベトナム(H22.9.23～27)、上海(H22.9頃)、ハワイ(H22.11頃)

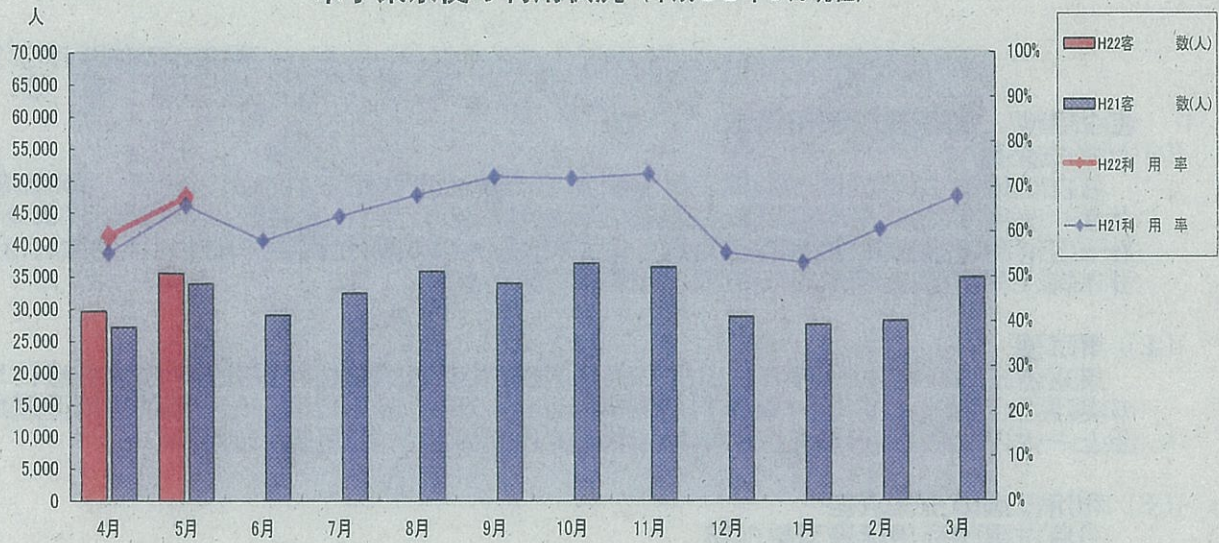
3 愛称を活用した取組

境港市出身の人気漫画家・水木しげる氏の代表作品「ゲゲゲの鬼太郎」の主人公鬼太郎にちなみ、世界で初めての妖怪の名を冠した空港として、米子鬼太郎空港の愛称を使用していくこととした。鬼太郎の全国的な人気と知名度を活かして、米子鬼太郎空港を全国に情報発信し、空港の一層の利用促進を図る。

<愛称活用の主な取組>

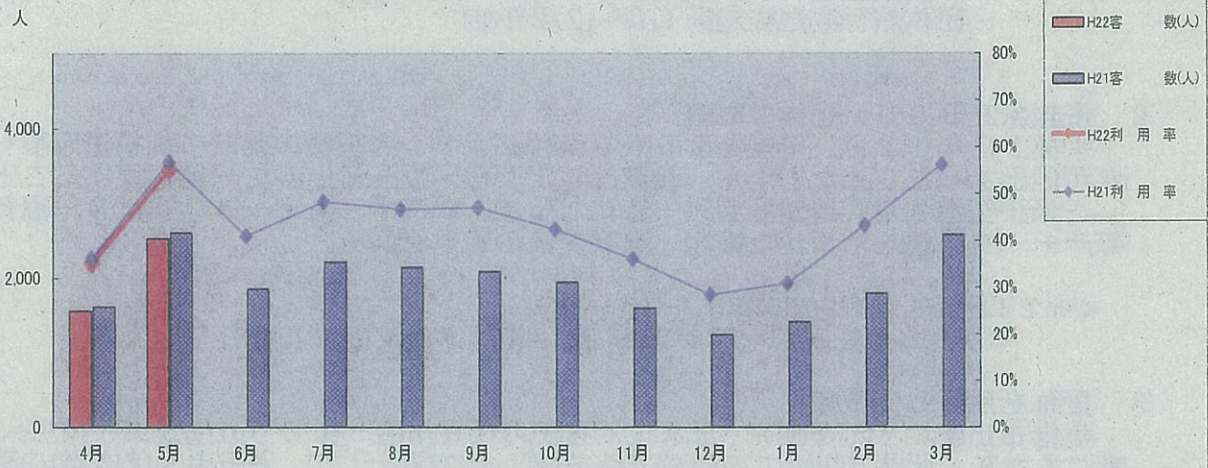
- 「米子鬼太郎空港」命名式(4月26日)
- 「米子鬼太郎空港」の誕生記念イベント開催(7月)
 - 空港看板やキャラクターデザイン・ロゴマークの披露等
- 県外でのPRイベント(7～8月頃)
 - 首都圏・中京圏の空港等で米子鬼太郎空港及び観光・物産のPR

米子東京便の利用状況 (平成22年5月現在)



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
H22客数(人)	29,612	35,573											65,185
H22利用率	59.1%	67.8%											63.5%
H21客数(人)	27,097	33,938	29,017	32,459	35,797	33,928	37,000	36,462	28,750	27,470	28,083	34,886	384,887
H21利用率	55.2%	65.9%	58.0%	63.5%	68.2%	72.2%	71.8%	72.9%	55.3%	53.1%	60.5%	67.9%	63.7%
対前年客数増減	2,515	1,635	△ 29,017	△ 32,459	△ 35,797	△ 33,928	△ 37,000	△ 36,462	△ 28,750	△ 27,470	△ 28,083	△ 34,886	△ 319,702
客数対前年度比	109.3%	104.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.9%

米子名古屋便の利用状況 (平成22年5月現在)



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
H22客数(人)	1,563	2,531											4,094
H22利用率	35.2%	55.2%											45.3%
H21客数(人)	1,616	2,610	1,860	2,217	2,144	2,087	1,945	1,601	1,242	1,415	1,794	2,578	23,109
H21利用率	36.4%	56.9%	41.0%	48.3%	46.7%	47.0%	42.4%	36.1%	28.4%	30.8%	43.3%	56.2%	36.4%
対前年客数増減	△ 53	△ 79	△ 1,860	△ 2,217	△ 2,144	△ 2,087	△ 1,945	△ 1,601	△ 1,242	△ 1,415	△ 1,794	△ 2,578	△ 19,015
客数対前年度比	96.7%	97.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.7%